

# 関東学院大学 建築・環境学部 AO入試問題の考え方：課題型

2014年度 関東学院大学/建築・環境学部「AO入試8月募集」《課題型》

プレゼンテーション

【課題】

「ユニバーサルデザイン」という言葉の意味について調べ、あなたが「ユニバーサルデザイン」に配慮されていると考える建物を選んで見学し、その特徴（良い点、悪い点、その他）を観察してまとめて下さい。更に、その建物を「もっと人に優しい」建物に改良するためにはどうすべきかを考えて、プレゼンテーションして下さい。

プレゼンテーションは、A3サイズ（約42cm x 30cm）の用紙4枚にまとめて下さい。写真やスケッチ、図等を使って、自由に表現して下さい。建築の専門的知識に基づいたものである必要はありません。あなたの提案が良く伝わるような資料を作成して下さい。あなた独自のユニークな表現を期待します。これをホワイトボードに掲示して説明して頂きます。

また上記の内容について、A4レポート用紙2枚にまとめ、そのコピーを3部用意して下さい。書式は自由です。プレゼンテーション用資料を縮小コピーしたもので、特別に作成したものも結構です。これが面接員の手元資料となります。

【当日の流れ】

「プレゼンテーション」及び「面接」は連続して行われます。

【約10分】課題のプレゼンテーション。及び本学志望動機、自己アピール等。

【約5分】質疑応答。

【注意】

プレゼンテーションに使用した用紙は、提出してもらいます。

必要な方は、事前にコピーを取っておいて下さい。

始めて聞く言葉は、図書館やインターネットで調べてみよう

身近な建物で、人に優しいものはあるかな？

提案の方法はいろいろ。自分の体が不自由になったときのことを、思い浮かべてみよう

見やすい資料づくりは、とても大切!

はきはきと、明瞭に話そう。服装も大事です。

今回のテーマは「デザイン」です

## 2014年度 AO入学試験（8月募集）問題

建築・環境学部

小論文

（試験時間 60分）

日常での使われ方から建築のかたちを考えてみよう

【問題】 次の文を読んで、下の問いに答えなさい。

建築では建物ができたあと、どのような使われ方をするかということも考えながら、設計しなければなりません。それらの対策は、極めて常識的な話であるように見えますが、調査の結果やっと明らかになることも多く、これらが設計に活かされて、次第に安全な建築に応用されてきています。

階段に替わるものとしてスロープも大きな話題を提供しています。車椅子のプレーキを掛けても滑って、ずるずる下がってしまうようなスロープは、二十数パーセントの傾斜をもっています。体力のある人でもきつい状況でしょう。何であっても階段の代わりにスロープにすれば良からう、ということにはならず、スロープを作っても、その角度が問題となります。そのために、車椅子で坂を登るときに、どういう角度であつたらよいのかという大規模な繰り返し実験も行われています。

以上のような努力を、建築あるいは人間工学の中でいろいろな研究者が続けていますが、問題は必ずしも明確に解決されていないのが現状です。

スロープか階段か。エレベータのパネルはいくつつけたらいいのか。これらの例では、空間あるいは費用などの負担が問題となります。余裕のない場合には、選択を迫られることになるでしょう。段差や点字ブロックなど、車イスにとっての配慮が、目の見えない方には苦勞のもとになることもあります。生活の中で、生体負担や温・湿度などの環境条件は、安全、快適な生活と運動不足や長く健康に生きるためなど、何を優先させて考えるべきなのか。

以上のように、様々な解決方法のそれぞれの中で、障害をもつ人とまたない人の間、あるいは障害をもつ人同士の間でも、さらには、健康といわれる人の間でも、どうしたら良い選択となるのかわからないことがあります。それらを何とか解決していく方法を試行錯誤しながらでも、見つけていかなければなりません。（「建築を知る」鹿島出版会、p.73）

どうすれば「安全」になるのか、考えてみよう

自分でも「問題だな」と思うものを、いくつか挙げて見よう

上記の文章を読み、誰もが気持ちよく暮らせる街や建物をつくるために何が必要かを、800字程度でまとめなさい。

箇条書きでもOK! 具体的に書こう。